より、園児、児童、生徒、一人一人の緊急時に適切な初期対応がとれるよう努めていきたい。アレルギー対応食についても、家庭からお弁当を持参している児童生徒もいるので、今後の対策について検討していきたい。

2．　自殺・うつ病対策について質問

リストラや、病気、家族との複合した悩みを抱える人が多くなって来ている。安曇野市内の実態と産後うつや育児ノイローゼの実態について伺いたい。また、人には言えない、相談出来ないで悩んでいる方が年々増えている。自殺予防やうつ病理解の啓発活動が必要と思う、メンタルチェックをベースにした、心の健康自己診断ツール、“こころの体温計”を提案したい。

答弁：健康福祉部長

相談件数は、年々増加している。心の健康に関心を持つことや、自身の心の状況を客観的に見るツールは、非常に役に立つと思う。市内の心の専門家、精神科医等と相談し検討していきたい。

長野県女性局街頭写真

長寿日本一の長野県、「平均寿命を延ばすのに医療費や医師が役立っているとは限らない。自ら働く場所を創り出し、予防に勝るものはない。労働寿命を延ばす事が大切。」と坂口　力党特別顧問は、語られました。寒さ厳しい折ですが、元気に過ごしていきたいものですね。手洗い・うがいを励行し、風邪などひかれませんように！！

今後も、みなさまに喜んで頂けるように、精一杯頑張ります。気軽にお声掛け下さい。